

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	サービスセンターいとまち		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 6日		~ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	R7年 1月 6日		~ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会体験を充実させ、社会のルールを学ぶ機会を提供してる。	自ら学べるような（職場体験、トランポリン教室など）企画を考え実行している。	保護者にどのような活動を望むかのアンケートを実施し、取り組んでいく。
2	専門機関（発達支援センター、相談支援事業所など）と連携することで利用者および保護者を支えるネットワーク作りに努めている。	日頃から他機関との連携を密にし、困ったことがあればすぐにでも相談できる関係性を心がけている。	相談できる関係性を続けていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	男性職員がいないため、同性介助が必要な場面ときに対応が難しくなる。（プールの着替えなど）	給与面で男性職員が働くには難しいと考える。	働きやすい職場づくりをどうしていくかを法人全体で考えていかなければならない。
2	保護者が預けやすい営業体系（営業時間等）であるか	働き方改革が言われている中でどこまで事業所が対応できるか課題である。	共働きの多い現代でどこまで対応していくかを事業所だけでなく法人全体で考えていかなければならない。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名 サービスセンターいとまち

公表日 令和7年 2月 28日

利用児童数 27

回収数 21

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	95%			5%		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	86%	5%		9%		配置数については基準をみたくしているが、適切であると感じていない保護者もいるのでどのような場面で感じ取っているのか精査していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90%	5%		5%		今後とも更に知識、技術の向上を目指していきたい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	95%			5%		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	86%	5%		9%		分かりやすい支援内容を設定していきたい。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95%			5%		今後も固定化しないようなプログラムを考えていきたい。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	33%	10%	14%	43%	地域の他の子どもとの交流はどうしているかわかりません	実際に地域の人と交流はしているが、「はい」と感じている保護者が少ないので、周知の仕方を考えていきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	95%			5%		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	57%	5%	9%	29%		研修会などがあれば情報提供をおこなってほしい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	95%	5%				送迎時や必要に応じて直接又は電話等により、様子を伝え合うなど、今後も共通理解を心がけていきたい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	95%			5%		今後も面談等で助言等を行ってほしい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95%	5%				共感を感じていない保護者もいるので、共感されるような支援を心がけていきたい。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	38%	19%	14%	29%		必要性を精査していきたい。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	90%	5%	5%	相談があった際には、迅速および適切な対応を心がけている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	90%	5%		今後とも、電話等で利用者の情報の交換を行ってきたい。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	90%	5%		行事予定や活動の様子は「たより」やSNSで情報を発信している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95%			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	67%	5%	24%	マニュアルは策定されているのだが説明不足であり、周知が課題である。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	71%	5%	14%	避難訓練の様子は、「たより」やSNSで発信しているが、読まれていないのか%が低い。伝達をどのようにしたらよいか考えていきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	86%		5%	今後も利用者の安全に配慮した支援を心がけていく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86%		9%	今後も速やかな連絡と対応を心がけていきたい。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	90%		5%	今後も安心感を持って通所できる事業所であるようにしていきたい。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	90%		5%	楽しみしてないと感じている保護者がいることを真摯に受け止め、100%になるように内容を考えていきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	86%	5%	5%	支援に満足していない方が少なからずいるので、100%になるように支援内容を考えていきたい。

公表

事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)

事業所名		サービスセンターいとまち				公表日	令和 7 年 2 月 28 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用者が広々と遊べる空間である。	・つい立を使用するなど工夫はしているが、個室が必要だと思う場面がある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・職員が足りないときは他部署から応援をかけたりにしている。	・活動内容によって職員数が足りないと感じるときがある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・駐車場から活動ルームまでの段差はなくしている。 ・一日の流れなどを視覚化したり玄関にはスロープがある。	・身体障害者の方への着替えやトイレ介助をする際のスペースが狭く感じる。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・活動が終わる度に、整理整頓および室内の清掃を行っている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・個別の場所を利用できるように対応している。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・朝礼、終礼時に業務伝達や振り返りを行っている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1年に一度、意向等を把握する機会を設けており業務改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		1年に一度、意見等を把握する機会を設けており業務改善につなげている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		理事会において、半年に1回評価をいただいている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		外部研修に参加する機会を設け、法人内での研修も年1回設けている。			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		法人のホームページ上で公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		全員参加による検討会を実施している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管だけでなく、職員全員で検討会をしている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		必ず計画（原案）の会議をし共有理解を図っている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		共通のアセスメントを用いて確認をしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		全員参加による検討会を実施しており、その中でより良いものに修正している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		地域のイベントや外部の人を招いた活動を取り入れるなどして固定回しないようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		利用者の特性に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前の打ち合わせで確認し、チームで連携して支援をおこなえるような体制を取っている。その内容を記録し、休みの職員が後日把握できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後の打ち合わせで確認し、チームで連携して支援をおこなえるような体制を取っている。その内容を記録し、休みの職員が後日把握できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に計画の見直しを行っており、必要であれば、他機関を含めた面談を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		4つの活動を組み合わせた支援内容を心がけている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己決定を育てる活動を取り入れるなど工夫をしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管だけでなく、利用者の状況を把握している職員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要であれば参加できる体制を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		毎日の送迎で担任と情報共有をおこなっている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		入所前に担当者と情報共有を図り以後においても必要時に情報を得ている。	児童発達支援事業所および、相談支援事業所ともさらに情報共有をしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・受け入れ先の担当が見学に来るほか事前実習をおこなっている。 ・必要時に会議でも情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			児童発達支援センターとの連携は今のところないが、発達障害者支援センターと必要時に連携を図っている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の学童クラブや児童館、公民館で開催されている行事に行き交流する機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		市内の児童部会に参加し、研修にも参加して職員の資質向上につなげている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳だけでなく、送迎時に対面でその日の様子を伝えるようにしている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			日頃から保護者に情報共有を行っているが、家族支援プログラムや研修の機会の情報提供を行っていないのが課題である。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		丁寧な説明を心がけており、質問等があれば迅速に対応をしている。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画の見直し時期に、意向の確認をとっている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書を提示しながら丁寧な説明を心がけている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談時以外でも、相談があれば適切に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		仕事している保護者も多く、開催に向けて工夫が必要である。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		第三者委員や苦情受付担当について重要事項説明書で説明をしている。	
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的なお便りで活動内容をお知らせしている。また、日々の活動の様子をSNSで発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		保護者には、外部に向かた利用者の写真や名前の使用を確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者にはカード、写真を使うなど構造化を図っており、保護者とは連絡帳や慶大電話による意思疎通を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の行事に参加しているが、事業所の行事に参加をどのようにしていくかが課題である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルは策定されており、職員に周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を実施し、必要な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		事前に把握し、職員全員が確認できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		必要な利用者には、医師の指示書を書いてもらい、指示書に従って対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを職員全員で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎月1回の全体ミーティングで話し合っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束はやむ得ず行う3要素を守り、保護者への説明は支援計画に書かれた内容を基に毎回説明が行われている。		